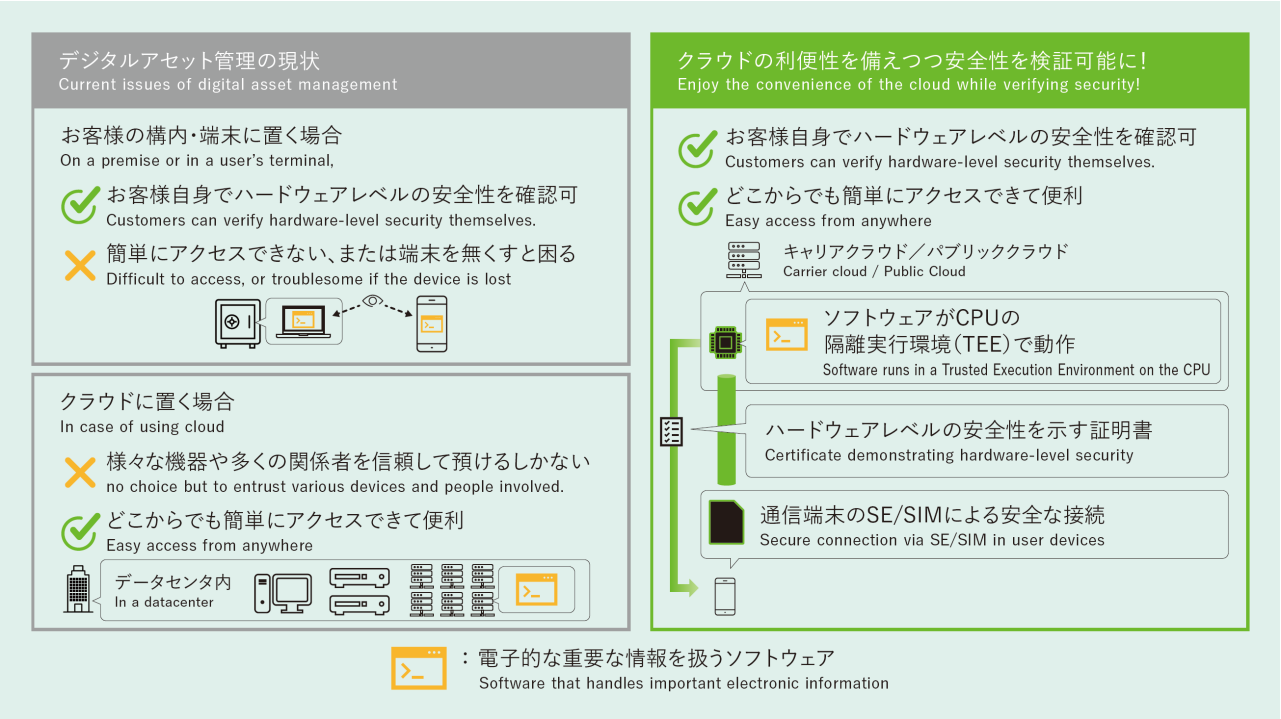
#サイバーセキュリティ #安心・安全 #DX(デジタル変革)

通信端末とクラウドのセキュアデバイス連携により安全性検証と強固な相互認証を実現します

安全性を検証可能なサービス実行環境

背 景 – 技術課題

DXが進む中で個人が管理する電子的なアイデンティティや資産の保護は重要課題です。現在の市中サービスでは、セキュリティが十分に担保されていることをユーザが検証できません。



研 究 目 標 – 成果

ハードウェアセキュリティレベルでのデータの保護を検証可能とすることで、ユーザが利便性を損なうことなく安心してサービスを利用できます。

技 術 ポ イ ン ト

01 要素技術

- クラウド内のセキュアデバイスの連携の階層化によりシステム全体の安全性の検証が可能
- 通信端末のセキュアデバイスを用いて安全にクラウドとの接続が可能

02 市中技術差異点

- 段階的な安全性証明によりユーザがソフトウェアの完全性検証可能
- 安全性証明のためのアプリ変更が不要
- 安全性検証の方法を工夫してサービス利用時の接続時間の延伸を回避

利用シーン 公共サービス・自治体	**R&Dフェーズ** 研究
技術確立予定時期 FY25-26	**ビジネス化予定時期** FY27-29

【出展企業】
NTT株式会社 ネットワークサービスシステム研究所

【問い合わせ先】
ネットワークアーキテクチャプロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
–

【関連Link】
https://www.rd.ntt/ns/inclusivecore.html